

(様式2:教育センター等調書)

市町村名 柏市

1 当該施設の概要

1	施設名	柏市立教育研究所	施設長名	布目 亮司
2	所在地	千葉県柏市篠籠田 119	郵便番号	277-0862
3	電話番号	代表 0471(45)2110 (内線 )	直通	( )
	FAX 番号	0471(43)5787	E-mail	<a href="mailto:edulab@kiu.ne.jp">edulab@kiu.ne.jp</a>
4	担当者名	西田 光昭	職 名	指導主事
5	常勤職員数	6名(内訳 所長1名 指導主事4名 副主査 1名)		
6	施設の主業務	情報教育の推進, 研修講座の実施, 教育相談, 適応指導, 就学指導, 教育問題の調査研究, 副読本編集作成, 幼児教育の共同研究, 幼児教育の振興		
7	インターネットへの接続状況	利用環境 無 有 (接続先 柏インターネットユニオン 回線速度 ISDN 128kbps) (先進的教育用ネットワークモデル地域事業柏 NC 1.5MB) 施設のホームページ 無 有 ネットワークの拠点機能 無 有(下欄2に詳細記入)		
8	既存事業の実施状況	先進的教育用ネットワークモデル地域事業の指定。 川口市とで1つの地区を形成し, 柏地区では「地域教育ネットワークを活用した, 様々な方向性の共同学習・交流活動の研究 オープンネットワークとクローズドネットワークの運用を通して をテーマに中学校8校, 小学校12校がCATV回線での接続行っている。地域NWCは, 麗澤大学情報システムセンターと柏市立教育研究所に分散配置し, ネットワーク機能と教育利用の機能とに分けて受け持ち研究に取り組んでいる。 各学校は, 9月から利用が始まり, webのコンテンツを資料として利用した問題解決の取組みや, 共同でweb上に置いたコンテンツを共同利用したり, テレビ会議システムを使ったりして共同学習への取組みがスタートした。学習用コンテンツの充実, コミュニケーションの場の構成などにも, 今後取り組んでいく。		

2 ネットワークの拠点としてのサービス機能・設備の状況

9	<p>拠点としてのサービスの内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ホームページで地域の学校や教育に関する情報を提供 有 無</li> <li>・ 学校のホームページを運用 ( 1 校分)</li> <li>・ 学校の教職員のメールアドレスを管理 ( 482 件分)</li> <li>・ 学校の児童生徒のメールアドレスを管理 ( 683 件分)</li> <li>・ 教材データベースを運用 有 無</li> <li>・ 学校向けインターフェースを運用 有 無</li> <li>・ フィルタリング・セキュリティ機能 有 無</li> <li>・ ネットワークを通じて教員研修プログラムを提供 有 無</li> <li>・ その他 (自由掲載)</li> </ul> <p>先進的教育用ネットワークモデル地域事業の指定を受ける前から、柏市教育委員会では、柏インターネットユニオン(以下 KIU)との共同研究でインターネット利用環境を整えてきている。KIU は、地域の小・中・高校、近隣センター、図書館等の公共性の高い組織の LAN を相互接続しインターネットアクセスを可能にしようと設立された、非営利の地域貢献型インターネットサービスである。教育研究所を窓口にして、学校における理想的なネットワーク環境として、クローズドな市内学校のイントラネットと、オープンなインターネットの共存をめざし、技術支援・利用環境の整備を KIU が行い、その運用ポリシーの決定を柏市教育委員会が行ってきた。</p> <p>KIU は、事務局を広池学園モラロジー研究所電算室、NOC を麗澤大学情報システムセンターに置き、利用する団体からの会費を回線費にあて、ボランティア活動によって推進されている。市内各学校のインターネット接続作業も、KIU のメンバーや麗澤大学学生によるボランティア活動によって全て行われている。</p> <p>今までに、先進的教育用ネットワークモデル地域事業参加の小学校 12 校・中学校 8 校のほか、中学校 3 校・小学校 11 校がインターネット接続をしている。教育研究所と KIU の間の回線については、先進的教育用ネットワークでの分散 NWC での運用実験に取り組むための共同実験として敷設したものである。児童生徒が学習活動で利用するには全てのコンピュータがインターネットを利用できることが必要だと考え、全ての学校が LAN 間接続を実現しており、専用線常時接続を目指して環境を整え ISDN 接続は現在 2 校のみを残している。また、実験的に近隣の学校は無線での接続もおこなっている。</p> <p>「インターネットは自立した LAN の集合」を基本に、各学校の中のネットワーク構築を進め、KIU は多段 Proxy を実現し各学校に DNS, Proxy, Cache, Mail の機能を持つ UNIX マシンを置いて運用している。今年度から、新たにこの Proxy にルータの機能を持たせ、教室系のネットワークと職員室系のネットワークに分け、職員が利用するデータのセキュリティも高めてきている。電子メールの利用は、先進的教育用ネットワークモデル地域事業参加校はセンターのサーバを利用できるが、それ以外の学校は校内メールサーバの運用ができる体制を作った。ダイヤルアップ接続校においても UUCP によるメール配信を実施している。この Proxy サーバの校内での運用については、KIU 技術部会によって講習会が行われ、各校から担当者が参加して UNIX の基本的な操作を身につける機会を設けている他、教育研究所の研修講座の中でも校内のネットワークの管理を取り上げている。</p>
---	----------------------	--

		<p>各学校の利用状況は KIU によって MRTG で記録され、ネットワークの利用状況を把握できるほか、回線の状況のチェックシステムも準備され、学習活動での利用に支障をきたすことがないように、いち早い対応を可能としてきている。</p> <p>先進的教育用ネットワークモデル地域事業に参加する学校と、それ以外の学校とが、別のネットワークにあるためその間の共同学習等を進めるための設備の共有ができる環境の構築が課題になってきている。</p> <p>また、インターネットを学習活動で利用するための、テレビ会議システムサーバの運用・掲示板やチャットボードの構築等共同学習の場の準備が必要になることがあり、学校からのリクエストは教育研究所によって集約され、KIU の協力で実現してきた。</p>
--	--	---